

あなたのご意見をお寄せください。
また、お困りのことなどお気軽に
相談下さい。

TEL. 0977-22-6576
FAX. 0977-23-6529

暴力団 に公金 flowed 不祥事

市民に **くわしく** 説明を！

… 広域圏議会 (10/15) で平野ふみかつ市議が要求 …

真相解明を求める 市民の請願も否決

この議会には、白石昇氏（元市議）から賛同署名1,487筆を添えて「真相解明のために、地方自治法100条に基づく調査を求める請願」が提出されました。

採決の結果、賛成少数で否決されましたが、議会まで臭いものにフタをしてよいのでしょうか。

【賛成】平野文活、野口哲夫、黒木愛一郎

【反対】自民、公明、社民の各市議

これ以上の調査も説明も必要ない

… 当局が驚くべき答弁 …

10月15日、別杵速見広域圏議会で平野ふみかつ市議が「前代未聞の不祥事。さらに調査し住民への説明を」と質問。

当局は「これ以上の調査も説明も必要ないと、驚くべき答弁をしました。」

平野ふみかつ市議が明らかにした

水永（浜田市長の知人）

北野（暴力団員）への

カネの流れ

◇H22年5月～23年8月（16ヶ月）

水永に「リース料」名目で毎月200万円を渡し、うち100万円を北野に。

◇H23年9月～11月（3ヶ月）

水永が失踪したため、税理士報酬に100万円上乗せした形にして、北野に。

◇H23年12月～25年1月（14ヶ月）

『別府環境』役員4人の給与に25万円づつ上乗せして月100万円をつくり、北野の息子を通じて北野本人に。

「水永との関係を切れなかった浜田市長に最大の責任がある」と指摘

水永弘行との関係について浜田管理者は「古くからの支援者の一人」と認めています。

平野ふみかつ市議は、水永に関わる疑惑は別府市議会でも早くから指摘されてきたが、水永との関係を切れなかった。それが今日の事態を招いた。浜田市長は広域圏管理者を辞職すべきだ、と追及。浜田管理者は「条例で別府市長が管理者となっており辞職はできない」と居直りました。



平野 ふみかつ



えんど 久子

別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例

全会一致で可決



4月施行

市民の意見を活かした条例

9月市議会で「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例」(通称共に生きる条例)が、全会一致で可決されました。2014年4月1日施行となります。

障がい者への差別をなく

すための条例制定は、市としてはさいたま市と八王子市に次ぎ全国3番目となります。3年ほどかけて市民の手で意見を出し合い条例案を作った、別府市で初めての条例です。

えんど市議くり返し意義訴える

日本共産党の猿渡(えんど)久子市議は、2年ほど前から一般質問で6回にわたりこの条例について質問し、条例制定の意義などを主張してきました。

障がい者への理解を深めることで、生活のしづらさや不安の解消につなげ、障がいのない人にとっても生活しやすい優しいまちづくりをすすめるという条例です。それは観光都市別府にとってもプラスになります。

えんど久子市議は、9月

市議会でも「絵に描いた餅にしないために、適した人材や人数の配置が必要」と求めました。また、生活道路の改善や防災・減災、親亡き後等の問題などについても具体化を求めてきました。今後とも皆さんとご一緒にがんばります。



9月市議会一般質問で、えんど久子市議は「教職員の健康は情熱をもって教育に取り組むためにも大切なことだ」と教職員の健康の問題を取り上げました。

年々増える先生の病気

えんど市議は、年々増える教職員の病気の防止について、産業医に学校現場の実情を知ってもらうことや事務量の見直し、正規教職員の増員などを求めました。

教職員の健康守り教育充実を

また、えんど市議は「子ども議会で『学校図書館の司書やスクールサポーターやスクールカウンセラーは兼任でなく全校配置を』との子ども議員さんからの質問に、市長より前向きな答弁があった。子どもの期待を裏切らないように、年次計画を立て早期に実現を。専門的なスタッフの充実はとても大事だ」と求めました。

教育長より「正規教職員の増員を県教委に要望していく。スクールカウンセラーや図書館司書などについては、子ども達の夢や希望を叶えるためにも関係課と協議していく」と答弁がありました。

【平野】虐待の実態は？

【答弁】今年4月、職員からの内部告発が大分県に寄せられ、5月に県と市が合同調査しました。その結果、心理的虐待7件、身体的虐待1件、性的虐待1件、介護放棄・放任1件の計10件が、関係者の証言等により判明しました。

【平野】不正経理の実態は？

【答弁】平成21年4月から25年6月まで（4年3ヶ月間）、職員配置が介護報酬を加算される基準には達してなかったにもかかわらず、虚偽の報告をして、1,500万円の加算金を不正に受け取っていました。

平野市議の質問のなかで、次のことも明らかになりました。

- ◆虐待をした女性職員を処分しないまま、介護職から他の部署に異動したが、給与規定にない手当を支給し厚遇していた。
- ◆理事会にかけずに理事長の給料を引き上げていた。その一方で批判的な職員には不当な減給・降格・昇給停止などをしていた。会計責任者と出納職員を理事長が兼任していた。
- ◆理事長専決金額を超える工事契約を、理事会の議決を経ずに理事長が単独で決済していた。
- ◆毎年を義務づけられていたレジオネラ菌の検査を9年以上していなかった。
- ◆入所者や家族に不適切な事務代行費を請求していたなど。

わくわく建設券（住宅リフォーム助成制度）



補助金額の22倍の経済効果！

わくわく建設券事業の活用状況

（9月3日現在）

- ◇登録業者数・・・157業者
- ◇建設券購入申し込み・・・364件、6,417枚、3億5,293万5千円
- ◇市補助金執行額・・・3,208万5千円
（予算1億円のうち32%）
- ◇総工事高・・・7億1,697万3,795円
（補助金の22.3倍）

日本共産党が8年前から提案してきた「住宅リフォーム助成制度」が「わくわく建設券」という形で実施されています。平野市議の質問で、総工事額は補助金額の22倍にのぼっているという結果が明らかになりました。

「おかげで仕事が増えています」と業者にも喜ばれています。いつその利用をお願いします。

猿渡(えんど)久子市議 市長に求める

社会保障の改悪に反対の声を

年金の引き下げなど弱者いじめ

えんど久子市議は、9月市議会では社会保障の問題を質問。「生活保護を受ける人が増えているが、低年金や雇用破壊こそが問題で、それを改善すべき。しかし、国は年金をさらに引き下げ、70～74歳の医療費を2割に引き上げるなど、社会保障は改悪や負担増ばかり。やることが逆だ。」と求めました。

「国に提言する」と浜田市長

浜田市長は「地方への財政負担が過重とならないよう、特に低所得者の方々に対して負担軽減されるよう、全国市長会等を通じて国に提言していきたい」と答弁しました。

質問の冒頭に「自公政権と国民のねじれは一層深刻だ」とえんど市議が



政府各省庁に実態を訴える

日本共産党別府市議団は、県会議員らと共に毎年上京し、政府各省庁に説明を求め話し合いの場を持ちます。今年も8月末に日本共産党の赤嶺政賢衆議院議員と共に、国会内で9省庁90項目にわたり話し合いました。

介護保険の国の負担割合の引き上げについて、厚労省の見解を問うと、「国の厳しい財政状況を鑑みれば困難」というのです。えんど市議は「厚労省は高齢者の財政状況や生活の実態は考慮しないのか。厚労省は、高齢者や国民が安心して暮らせるようにするのが仕事ではないのか」と批判しました。

また、日本共産党市議団は、9月市議会では「介護保険給付から要支援者を外す計画の中止を求める意見書」を提出しました。しかし、自民党・公明党などの会派が反対し、否決されてしまいました。



8月末に上京。厚労省に「年寄り早く死ぬのか」という声を届け訴える平野・えんど両市議。 2013. 8. 28.